



インフルエンザ流行時／ 民法改正以降の成人式

小林洋子議員(フォーラム小平)

インフルエンザ流行時の対応について
2022年4月民法改正以降の成人式について

質問 ①休日・準夜応急診療について、発熱のある人の待機場所の環境改善ができないか。
②医師や薬剤師の増員等はないか。
③登校許可証は医療機関にも保護者にも負担が大きい。廃止できないか。

市長 ①医師会と場所の入れかえ等が可能か調整する。
②医師会と情報共有していく。
③自治体によつては、保護者の署名で認めるなど取り扱いが一律でないことは認識している。今後、協議していく。



空き家の管理と活用について／ 市民が健康に暮らすために

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

小平市の空き家の管理と活用について
小平市民が健康に暮らすために

質問 ①把握している空き家の数と実態調査で見た課題は。
②利活用推進のため市民団体等とのマッチングはできるか。
③若い人の転入を促すために工夫できることは。

市長 ①相談により374件を把握。施設入所や相続で増加が予想され、未然防止や適正管理が必要。
②利活用の意思がある人のために相談体制を整備する。市によるマッチングは考えていない。
③空き家対策には売却等の推進が重要である。市場での流通を促し若い世代流入に寄与する。



通学区等見直しと部活動での 越境通学／公共施設の有効活用

中江みわ議員(フォーラム小平)

通学区等の見直し、部活動での越境通学を可能にするために

質問 ①通学区の見直しと調整区域の廃止で、距離の近い学校に通学区を固定できないか。
②部活動を理由に指定学校の変更を認めることはできないか。
教育長 ①通学区は学校の適正規模の維持等を総合的に勘案し設定している。また、調整区域は開発に伴う児童数の増加等、通学区のみで対応できない課題の補完的機能を持つため、距離のみに着目した区域の設定はせず現行の制度で運用していく。
②通学の安全確保の課題に加え、学校、家庭、地域が連携し、

互いを育て合い、子どもを支えるという考え方に基き進めていくことから導入の考えはない。
テニスコートと壁打ちの設置に向け公共施設を有効活用すべき
質問 ①萩山公園プールと東部公園プール内にラインを引き、テニスコートの設置を望むが、壁打ちの設置を望むが、どこが候補として考えられるか。
市長 ①塗装の剥離等が想定されるため満水しておくことが保全上必要である。また緊急用非常水源等としても重要であることなどから整備は困難である。
②市内に可能となる場所がないか、情報収集に努めていく。



萩山公園の50メートルプール



東部地域の諸課題／まちの魅力の 向上を目指すために

磯山 亮議員(政和会)

東部地域の諸課題について
まちの魅力の向上を目指すために

質問 ①千代田区花小金井グラウンドの相互利用への検討は。
②花小金井南中学校地域開放型体育館のアリーナへの冷暖房設備設置について、市の見解は。
市長 ①千代田区民の利用において利便性等のメリットが期待できず実現困難な状況である。引き続き、近隣市を含めた相互利用については研究課題とする。
教育長 ②設置や運用に伴うコスト面等の課題がある。さらに、喫緊の課題として、施設の老朽化対策等も必要である。こうしたことから現時点でアリーナへ

の冷暖房設備の設置予定はない。まちの魅力の向上を目指すために
質問 ①職員の採用で身体障害者に限定することに問題ないか。
②精神障害者への移動支援の実績がほとんどないが課題は。
市長 ①窓口等での市民対応のため身体障害者対象としている。
②移動支援事業を担うガイドヘルパーの不足が挙げられる。
障害者の親亡き後の暮らしは大丈夫か
質問 ①75歳以上の家族と同居する40歳以上の障害者の人数と40歳以上の単身障害者の人数は。
②地域支援拠点の整備がおく



児童虐待対策／きこえことばの 教室／小平駅付近に児童館を

竹井ようこ議員(フォーラム小平)

子どもからのSOSを受けとめ、
児童虐待から守るために

質問 ①公立小・中学校で虐待が疑われるケースへの対処は。
②SOSを見逃さず虐待に気づき対処するための研修は。
③スクールローヤーの設置は。
教育長 ①子ども家庭支援センターに報告し、要保護児童対策地域協議会がケース会議を開催し、対応を検討する。
②SOSの出し方教育の授業実践例を学ばふか都の児童虐待防止研修セットの活用等をした。
③現時点で配置の予定はないが、引き続き、国や都、他市の動向を注視しつつ研究していく。

きこえことばの教室には必要とする児童が全員通っているか
質問 ①小平第二小学校から遠い児童はどのように通うのか。
②教室を必要とする児童は漏れなく通っているか。在籍校に指導者が出向くことはどうか。
教育長 ①通級は保護者の送り迎えを条件としている。
②潜在的ニーズは把握していないが、特別支援教室で補うほか、言語聴覚士による在籍校への支援等も行っている。在籍校への指導者の派遣は困難である。
【掲載分以外の質問項目】
○小平駅付近に子ども、子育て世代の居場所となる児童館を



障害者雇用等／障害者の親亡き 後の暮らし／駅前再開発事業

橋本久雄議員(緑の党こだいら)

障害者雇用等
雇用はどこまで進んだか
質問 ①職員の採用で身体障害者に限定することに問題ないか。
②精神障害者への移動支援の実績がほとんどないが課題は。
市長 ①窓口等での市民対応のため身体障害者対象としている。
②移動支援事業を担うガイドヘルパーの不足が挙げられる。
障害者の親亡き後の暮らしは大丈夫か
質問 ①75歳以上の家族と同居する40歳以上の障害者の人数と40歳以上の単身障害者の人数は。
②地域支援拠点の整備がおく

理由はない。
市長 ①ともに把握していない。
②事業者の確保や連携のあり方など制度設計の問題等がある。
小川駅西口と小平駅北口の再開発事業は見直し
質問 ①公費が約3億5000万円投入されることに問題はないか。
②これらの事業はプチ田舎にふさわしくないのではないか。
③事業を見直す考えはあるか。
市長 ①重要な施策推進に必要。適正な財政負担等に努めていく。
②プチ田舎の概念に沿ったものであると認識している。
③まちづくりの重要な施策であり、引き続き推進していく。

ケアラー、介護する人を社会で支えるしくみをつくらう
質問 ①家族介護者の仕事と介護の両立に向けた支援として、実施できることは何か。
②ケアラーを支援するための施策を総合的及び計画的に推進するため、仮称こだいらケアラー支援条例を制定してはどうか。
市長 ①地域包括支援センターで相談時に状況把握に努め、必要な情報提供を行っている。今後、制度や相談窓口の案内をホームページ等で周知していく。
②現時点で制定は考えていないが、核家族化、少子高齢化の進行、社会状況の変化等でケアラ



ケアラー支援について／ 地域で暮らすための生活支援拠点

平野ひろみ議員(生活者ネットワーク)

ケアラー、介護する人を社会で支えるしくみをつくらう
質問 ①家族介護者の仕事と介護の両立に向けた支援として、実施できることは何か。
②ケアラーを支援するための施策を総合的及び計画的に推進するため、仮称こだいらケアラー支援条例を制定してはどうか。
市長 ①地域包括支援センターで相談時に状況把握に努め、必要な情報提供を行っている。今後、制度や相談窓口の案内をホームページ等で周知していく。
②現時点で制定は考えていないが、核家族化、少子高齢化の進行、社会状況の変化等でケアラ

障がいのある人が地域で安心して暮らすための生活支援拠点
質問 国の基本指針に基づき、地域生活支援拠点等を平成32年度末までに整備するとしている。市として拠点の整備のイメージを示し、どう進めていくのか。
市長 地域自立支援協議会の場等を活用して検討している。市内の複数の関係機関が分担して機能を担う面的整備を基本とし、緊急時の受け入れや対応など、当事者等のニーズが高い機能から段階的に整備を進めていく。

障がいのある人が地域で安心して暮らすための生活支援拠点
質問 国の基本指針に基づき、地域生活支援拠点等を平成32年度末までに整備するとしている。市として拠点の整備のイメージを示し、どう進めていくのか。
市長 地域自立支援協議会の場等を活用して検討している。市内の複数の関係機関が分担して機能を担う面的整備を基本とし、緊急時の受け入れや対応など、当事者等のニーズが高い機能から段階的に整備を進めていく。